

2003年3月の東北地方の天候

【3月の特徴】

- ・上旬の多雨・寡照、中旬以降の少雨・多照
- ・7~8日の低気圧による大荒れの天気

(1)概況

上旬は、低気圧や寒気の影響を受けやすく多雨・寡照となった。しかし、中旬以降は低気圧や前線による天気の崩れは小さく、高気圧に覆われ晴れる日が多くたため、少雨・多照となった。

なお、7~8日は低気圧が発達しながら三陸沖を通過したため、東北太平洋側を中心に大荒れの天気となり、漁船の転覆や防波堤、養殖施設の損壊など大きな被害が発生した。

月平均気温は平年並。月降水量は東北日本海側で多く、東北太平洋側でかなり多い。月間日照時間は平年並。

(2)天候経過

上旬： 1~2日と7~8日は低気圧が発達しながら三陸沖を北東に進み、東北地方は大荒れの天気となった。このため、2日は交通障害、7~8日は漁船の転覆や防波堤、養殖施設の損壊など大きな被害が発生した。7日は大船渡で日降水量91.0mm、小名浜で日最大瞬間風速31.1m/s(北西の風)を観測し、8日は東北太平洋側の北部で記録的な大雪となり、日降雪量が八戸で47cm、宮古で62cmと、いずれも3月の極値を更新した。低気圧の通過後は冬型の気圧配置となり、特に旬後半は強い寒気が流入した。東北日本海側では曇りや雪の日が多く、東北太平洋側では概ね晴れたが雪の日もあった。

平均気温は平年並。降水量はかなり多い。日照時間はかなり少ない。

中旬： 11~12日は冬型の気圧配置となり、東北日本海側は曇りや雪、東北太平洋側は晴れた。また、19~20日は上空の寒気の影響により、東北日本海側を中心に雪となった。その他の日は高気圧に覆われ概ね晴れたが、日本の南海上を通過した低気圧の影響で17日は東北南部で雨や雪となった。

平均気温は低い。降水量は、東北北部でかなり少なく、東北南部で少ない。日照時間は多い。

下旬： 期間の前半は高気圧に覆われ晴れて暖かい日が続いたが、期間の後半は天気が短い周期で変化した。28日は一時的に冬型の気圧配置が強まったため各地で強風となり、交通障害が発生した所があった。

なお、27日には秋田、山形、若松で黄砂を観測した。

平均気温は高い。降水量は東北日本海側で少なく、東北太平洋側でかなり少ない。日照時間は東北北部で平年並、東北南部で多い。

注) 気候統計値は、東北地方にある17地点の気象台、測候所、特別地域気象観測所の観測値より求めています。
細分地域については3ページ目脚注を参照して下さい。

平年値の統計期間は1971-2000年です。階級区分については、2ページ目下段の脚注を参照して下さい。

(3) 月統計値の極値・順位の更新

(月平均気温、月降水量、月間日照時間、月最深積雪、月降雪量の3位まで。ただし、新庄・むつ・白河の月最深積雪は、統計期間が短いため1位に該当した場合のみ示す。石巻の月最深積雪は、統計期間が短いため、極値・順位を求めるない。新庄・むつ・石巻・白河の月降雪量は観測していない。)

月降水量多い方からの極値・順位更新

| 順位 | 地点名 | 降水量 (mm) | これまでの最大(mm)(年) | 統計開始年 | 平年値(mm) |
|-----|-----|----------|----------------|-------|---------|
| 2 位 | 大船渡 | 180.5 | 183.4 (1966) | 1964 | 91.8 |
| | 白河 | 114.5 | 130.5 (1995) | 1994 | 71.1 |

月降雪量多い方からの極値・順位更新

| 順位 | 地点名 | 降雪量 (cm) | これまでの最大(cm)(年) | 統計開始年 | 平年値(cm) |
|-----|-----|----------|----------------|-------|---------|
| 3 位 | 八戸 | 57 | 75 (1983) | 1953 | 25 |

(4) 月気候表 (2003年3月)

| 地 点 | 月平均気温(平年差) 階級 | 月降水量(平年比) mm % 階級 | 月間日照時間(平年比) h % 階級 | 月最深積雪(平年値) cm cm 階級 | 月降雪量(平年値) cm cm 階級 |
|-------|------------------|----------------------|-----------------------|------------------------|-----------------------|
| 青 森 | 2.3 (+0.3) + | 101.5 (146) + | 129.7 (92) | 71 (84) 0 | 53 (65) 0 |
| 深 浦 | 3.2 (+0.6) + | 97.0 (124) + | 107.8 (90) | 14 (27) 0 | 30 (22) + |
| む つ | 1.6 (+0.2) + | 81.5 (105) 0 | 149.7 (97) 0 | 35 (52) | --- (---) --- |
| 八 戸 | 2.1 (-0.2) 0 | 108.5 (210) +* | 150.9 (87) | 43 (17) +* | 57 (25) +* |
| 秋 田 | 3.3 (+0.1) 0 | 99.5 (107) 0 | 138.3 (102) 0 | 18 (20) 0 | 37 (26) + |
| 盛 岡 | 1.7 (-0.1) 0 | 60.5 (76) 0 | 189.4 (113) + | 35 (20) + | 30 (35) 0 |
| 大 船 渡 | 3.6 (+0.1) 0 | 180.5 (197) +* | 153.6 (91) | 3 (6) 0 | 4 (9) 0 |
| 富 古 | 2.4 (-0.6) | x (x) | 192.8 (105) 0 | 58 (18) +* | 64 (27) +* |
| 仙 台 | 4.8 (+0.3) 0 | 123.5 (169) + | 188.0 (103) 0 | 1 (7) | 1 (12) |
| 石 巍 | 3.8 (+0.1) 0 | 133.5 (190) +* | 184.5 (97) 0 | 4 (9) 0 | --- (---) --- |
| 山 形 | 3.1 (0.0) 0 | 107.5 (162) +* | 153.0 (104) 0 | 15 (27) 0 | 32 (37) 0 |
| 新 庄 | 1.9 (-0.1) 0 | 84.5 (75) | 115.6 (99) 0 | 54 (98) | --- (---) --- |
| 酒 田 | 4.6 (+0.4) 0 | x (x) | 127.9 (101) 0 | 11 (14) 0 | 21 (16) + |
| 福 島 | 4.9 (0.0) 0 | 118.5 (154) +* | 175.0 (98) 0 | 11 (10) 0 | 21 (19) 0 |
| 若 松 | 2.9 (-0.1) 0 | 80.0 (125) + | 146.0 (104) 0 | 14 (28) 0 | 26 (42) 0 |
| 白 河 | 3.3 (-0.3) 0 | 114.5 (161) +* | 160.4 (87) | 9 (10) 0 | --- (---) --- |
| 小名浜 | 5.7 (-0.5) | 174.5 (164) +* | 200.3 (107) + | - (2) | 0 (2) |

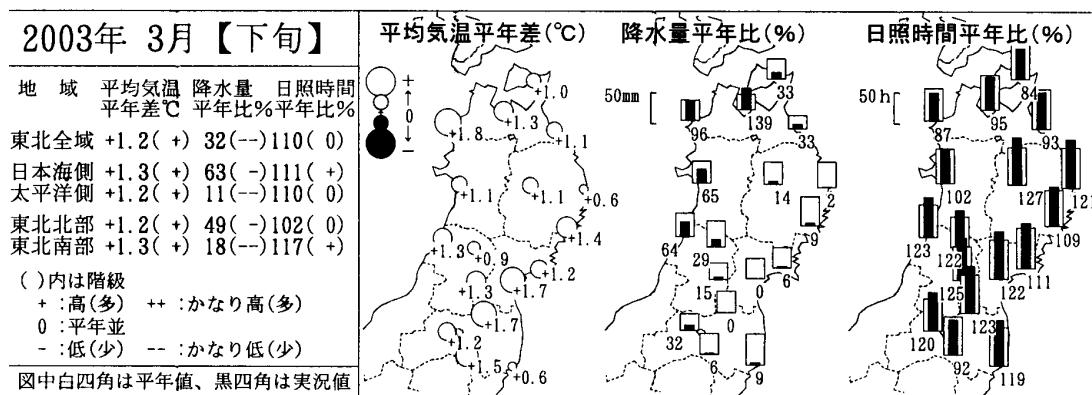
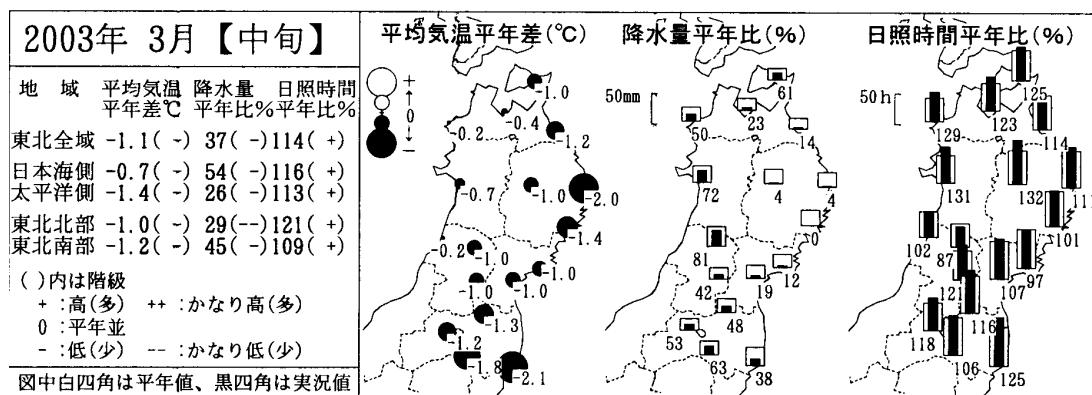
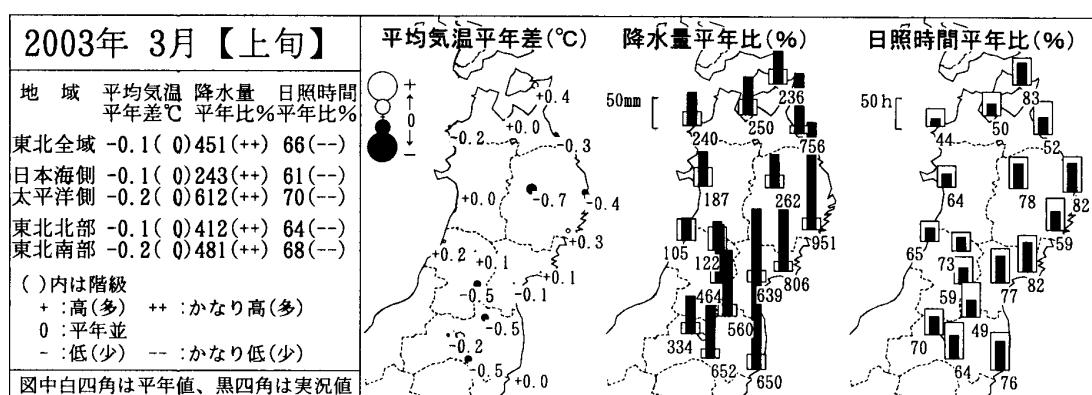
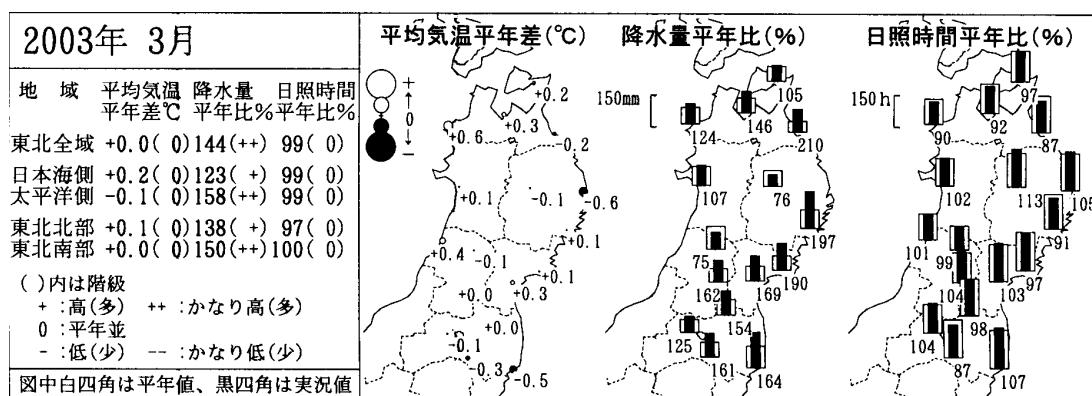
観測値欄の記号は、x : 欠測) : 欠測日を含む - : 現象なし --- : 観測をしていない

階級は + : 高い(多い) 0 : 平年並 - : 低い(少ない) * は「かなり」を表す

月最深積雪と月降雪量の階級については、平年値が「1cm」以上の場合のみ表示する

注)階級は「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3階級とし、それぞれの階級幅は、1971~2000年の30年間ににおいて出現した値を等確率(33.3%)に区分しています。また、低い(少ない)方または高い(多い)方から出現率10%の範囲を、それぞれ「かなり低い(少ない)」、「かなり高い(多い)」と表し、補足的に用います。本資料の本文にある階級の表現も、「かなり低い(少ない)」、「かなり高い(多い)」に該当する場合はそのように記述し、細分地域により階級表現が異なる場合は地域を細分して記述しています。

(5) 2003年3月の月・旬平均(合計)値の平年差(比)



注) 細分地域

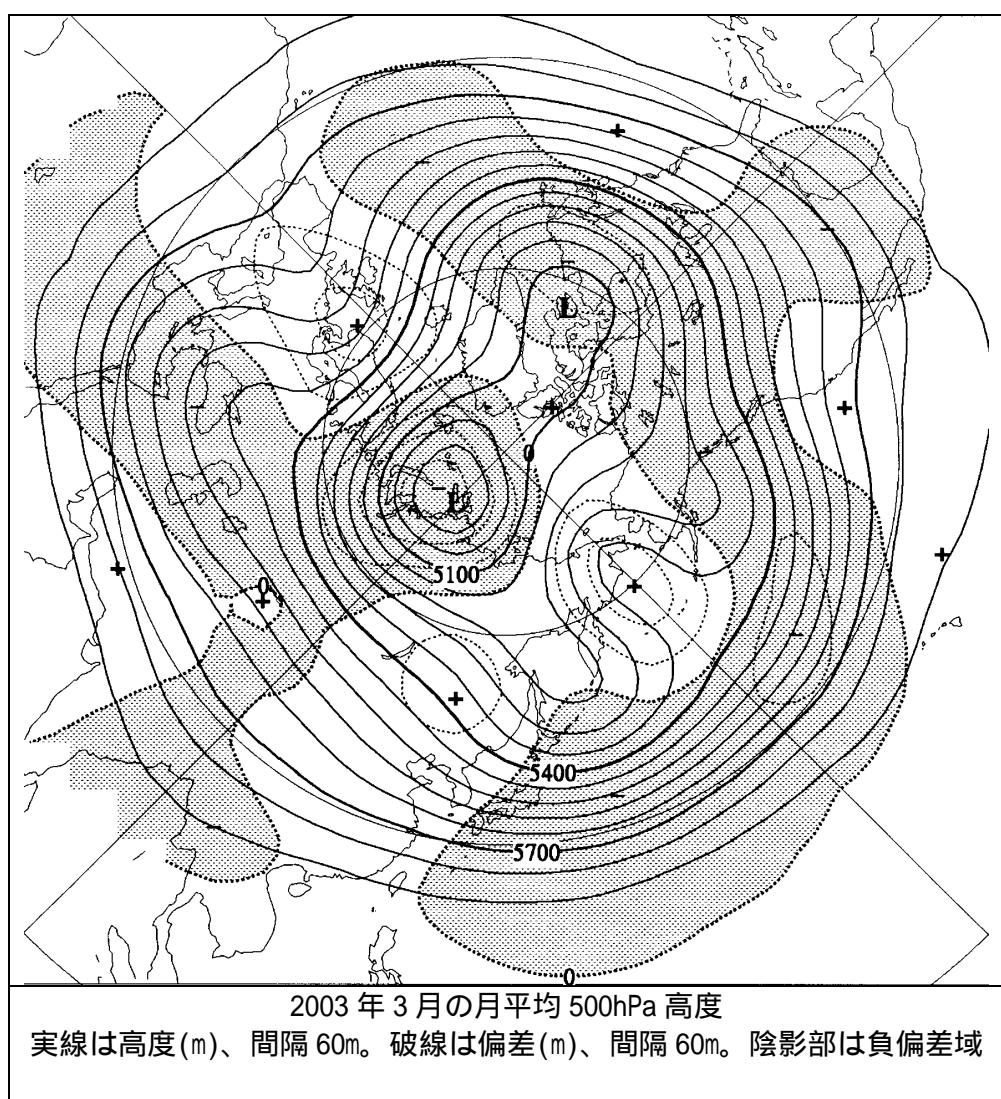
東北日本海側：青森県津軽地方、秋田県、山形県、福島県会津地方

東北太平洋側：青森県下北・三八上北地方、岩手県、宮城県、福島県中通り・浜通り地方

東北北部：青森県、秋田県、岩手県

東北南部：宮城県、山形県、福島県

(6) 2003 年 3 月の循環場の特徴



中国東北区とベーリング海には気圧の尾根があって正偏差が強く、東アジアは概ね正偏差に覆われた。しかし、日本付近は北太平洋の中緯度帯に広がる負偏差に覆われ、上旬から中旬にかけて寒気の影響を受けた。

偏西風の流れは、東谷（大陸で高度が高く、日本の東で高度が低い）傾向で、低気圧などの発達は弱く、中旬以降は大陸から張り出す高気圧に覆われ晴れる日が多くなった。しかし、上旬には 2 度低気圧が発達しながら三陸沖を進んだため、東北地方は大荒れの天気となる日もあった。